

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

◎ 事業実施の概要

平成29年度は災害が京都府において頻繁に起こった年でありました。特に、9月の台風18号が今までにない局地的な豪雨となり、総雨量は200mm程度であったにもかかわらず、峰山では時間雨量が90mmにも達し、大きな災害が発生しました。

また、18号に続き21号では近畿地区全体が被災し、地区間の応援体制もままならない状況となり、今までの危機管理では対応できず、新たな危機管理体制を構築する必要があると痛切に感じたところです。

近年の地球の温暖化により局地的豪雨が発生する確率が非常に高まり、降雨による災害発生期間が梅雨入りの6月から台風シーズンの10月までの長期にわたるようになり、その期間、何時何処でも災害が発生する可能性があり、その災害復旧を担う我々測量設計業従事者の不安も尽きることはありません。

しかしながら、我々測量設計業者はそれに対して年々高齢化が進み、担い手の確保も遅々として進まず、苦しい状況にあります。

このような中で、測量設計業が存続・発展するためには若手技術者の育成と新たな技術の導入が重要であり、そのためには、測量設計業の経営の安定化、労働環境の改善や、技術者単価のアップ、業務量の経常的確保が必要です。

これまで、発注機関に対して事業量の安定的拡大、地元企業の配慮等についての要望活動を継続するとともに、会員自らの経営基盤と技術力の充実強化を目指して、経営に係る講習、技術研究の実施、各種団体の行う研修・講習会への参加呼びかけ、高度技術学院の開講、情報収集活動の強化などに努めて参りました。

さらに当協会の社会的地位向上のため、理事会を7回開催するとともに、総務委員会を4回、広報委員会を4回、技術委員会を3回、学院運営委員会を4回、測量体験学習特別委員会を3回、それぞれ開催して事業の実施に当たって参りました。

なお、当協会の運営に当たりましては、京都府・京都市をはじめとする各市町村当局並びに関係団体の適切な助言、ご指導を賜っております。

以下、平成29年度において実施しました事業を報告致します。

◎ 総務委員会

測量設計業のもつ社会的使命に応えるため、以下の事業を実施しました。

1 総会の開催

第6回定時総会

日 時 平成29年5月19日（金） 15：00～17：00

場 所 メルパルク京都 鞍馬の間（6階）

出席者 正会員 49名 内委任状 16名

準会員 0名

〔 当日現在会員数 正会員 49名 準会員1名
合計50名 〕

議 題 ①平成28年度決算書の承認について

②入会金・会費規程の改正について

2 一般社団法人への移行（現在、移行期間中）

平成24年 4月 1日 登記完了（京都地方法務局）

平成24年 6月29日 公益目的財産額確定報告（京都府）

〔公益目的財産額 66,732,481円、支出計画期間 9年間〕

〔 平成30年3月31日現在 公益目的財産残額
12,211,236円 〕

3 災害協定に基づく災害通信訓練の実施

平成29年 6月 6日（火）（京都府建設交通部）

京都府との災害協定締結（H18.8.29締結、自動更新）

京都市との災害協定締結（H19.3.14締結、自動更新）

4 福利厚生事業の推進

(1)総会終了後の懇親会の開催

日 時 平成29年5月19日（金） 17：00～19：00

場 所 メルパルク京都 楓の間（6階）

参加者 33名

(2)賀詞交歓会の開催

日 時 平成30年1月15日(木) 17:30~19:30

場 所 京都タワーホテル 飛雲の間(9階)

出席者 会員50名

来 賓 京都府知事(代理 建設交通部技監 藤森和也様)
京都市長 (代理 建設局建設企画部 市橋英人様)

顧 問 参議院議員 二之湯 智様
京都府議会議員 村田 正治様
京都市議会議員 繁 隆夫様

(3)生命保険への団体加入促進

一人でも多くの方が加入することによって、会員構成員の福利厚生事業の充実を図るとともに、加入に伴う手数料収入を協会の財源に充てるため、グループ保険の定着拡大に努めました。

グループ保険 住友生命保険相互会社
加入者 7社

(4)そくりょう&デザイン企業年金基金への加入促進

加入者 9社

(5)測量士職業賠償責任保険への加入促進

加入者 19社

5 測量法に基づく登録関係手続等の経由業務

会員各社の負担を少しでも軽減するため、測量法に基づく各種登録、届出などの手続の当協会経由を推進してきました。

- ①新規・更新登録
- ②変更登録
- ③定款変更届・記載事項変更届
- ④財務に関する報告
- ⑤業者登録証明
- ⑥手続時期の到来予告連絡

6 京測協ホームページの活用

最新の多様な情報を収集・発信していくため、平成13年度に開設したホームページを改善し、内容の充実を図りました。

7 会員異動状況（平成29年4月2日～平成30年4月1日）

※正会員数52社、準会員1社 計53社（平成30年4月1日現在）

[入 会]	近畿都市整備株式会社	平成29年10月1日付
	株式会社内外測技	平成30年1月1日付
	株式会社吹上技研コンサルタント	平成30年4月1日付

[住所変更]	株式会社共栄技術	平成29年8月21日付
	（新）綾部市新宮町6-1	
	（旧）綾部市田野町風久呂20-5	

◎ 広報委員会

測量設計業界の社会的地位の向上や会員の業績向上につながる活動については、種々の機会を通じて日常的に取り組むことを基本にするとともに、要望活動、意見交換会等を通じて積極的に取り組みました。

1 要望活動

日 時	平成29年8月30日（水）、9月1日（金）、4日（月）3日間
要望先	国、京都府
要望者	会長、副会長、広報委員長・副委員長、理事等
内 容	①今年度の事業概要について ②地元業者への業務発注について

2 意見交換会

(1)京都府建設交通部

日 時	平成29年8月10日（木） 10:30～12:00
場 所	ルビノ京都堀川 梅の間
テーマ	①今年度の事業執行方針及び事業額について ②地元業者への業務発注について ③土木事務所内における情報共有について ④適切な工期の設定・発注時期について ⑤過去の業務に対するアフターフォローについて ⑥小規模業務の設計表示単位について

出席者 京都府建設交通部：大石理事ほか4名
京測協：吉永会長ほか8名

(2)京都市建設局

日 時 平成29年8月4日（金） 10：30～11：40
場 所 京都市役所 建設部会議室
テーマ ①今年度の事業執行方針及び事業額について
②「京都市公契約基本条例」に基づいた業務発注について
③適正な作業期間の確保について
出席者 京都市建設局建設企画部：市橋技術総括担当部長ほか3名
京測協：吉永会長ほか6名

3 会報誌、名簿の作成

(1)会報誌 第66号 [平成29年10月発行] (700部)

平成29年10月上旬に国、府市町村等の発注機関をはじめとして、全国都道府県測協、関係諸団体及び会員に配布しました。

(2)会員名簿（700部）の作成・配布

要望活動時に発注機関等に広く配布しました。

4 指名願提出要領等の照会、情報交換及び提供

府内発注機関に対して提出要領等を照会し、近畿府県各測協との情報交換を行うとともに、会員への情報提供を行いました。

5 関西G空間フォーラム in 京都の開催

日 時：平成30年1月17日（水）12時～17時

場 所：京都テルサ テルサホール

参加者：261名（行政機関57名、京測協会員120名、協会外61名、大学等6名、その他17名）

主 催：地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会
関西G空間フォーラム in 京都実行委員会

（国土地理院近畿地方測量部、京都府、（一社）京都府測量設計業協会 他）

内 容：講演会

基調講演、特別講演、事例発表

地理空間情報関連の機器・システム等の展示会

◎ 技術委員会

測量設計の技術力向上・改善のため、以下の活動を実施しました。

1 道路台帳補正業務の歩掛改定に係る実態調査（ヒアリング）の実施

京都府の「道路台帳補正業務特記仕様書」及び「道路台帳補正業務の歩掛」の改定に伴う問題点等を把握するため、協力が得られた会員からヒアリングを行いました。

2 災害復旧事業に係る業務委託積算基準の見直しに伴う協議・検討

「災害復旧事業に係る業務委託積算基準」の見直しに伴う実態調査に向けて、協議、検討を行いました。

3 情報の収集等に関する調査研究

(1)会員への情報提供

全測連近畿地区協議会との情報交換を行うとともに、会員への情報提供を行いました。

(2)BCP事業継続計画について

自然災害等非常事態発生時に素早く事業を再開させるため、BCP事業継続計画の作成について会員への情報提供を行いました。

◎ 学院運営委員会

会員各社の測量設計技術力の向上・改善のため、講座を開講しました。

①測量コース

演 題：GNSSによる基準点測量技術講習会

開講日：平成29年5月31日（水）、6月29日（木）

講 師：国土地理院近畿地方測量部、（公社）日本測量協会・関西支部 他

会 場：京測協 研修室

受講者：34名

②設計コース

演 題：災害対応測量設計講習会

開講日：1日目 平成29年7月4日（火）

2日目 平成29年7月20日（木）及び21日（金）

講 師：京都府建設交通部砂防課 副課長 中坊 傳氏

京都府農林水産部農村振興課 副課長 老中 浩泰氏
(一社) 全国測量設計業協会連合会技術部長 土谷 学氏 他
受講者：40名

*京測協高度技術学院は、会員各社における「技術の高度化、高付加価値化」を目的に、京都府知事から職業能力促進開発法による職業訓練校の認定(平成5年4月1日付け)を受け、測量設計技術の向上に役立つ講座を実施している。

◎ 測量体験学習特別委員会

第10回測量体験学習の実施

(1)日時：平成29年5月25日(木) 8:45~12:00

(2)場所：城陽市立寺田南小学校グラウンド(6年生61名)

(3)内容：第1部 講演 測量と地図のお話[国土地理院近畿地測職員]

第2部 ①私たちの学校はどこ②歩測③距離(ボール投げ)④高さトランシット⑤高さレベル⑥GPSで地球に描く⑦東寺五重塔(原寸大)を校庭に描く⑧記念撮影